

**MICOMSOFT**

**D端子付きAV分配ユニット**

# **XVI-2**

**AUDIO VIDEO SPLITTER UNIT**

---

## **取扱説明書**

---

この度は、「XVI-2」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。商品正しくご使用いただくために、まずこの説明書をよくお読みください。

<製品内容・トラブル・修理に関するお問い合わせ先>

〒541-0041 大阪市中央区北浜3丁目2番25号

京阪淀屋橋ビル6階 電波新聞社・大阪本社内

TEL 06-6203-2827

ホームページURL <http://www.micomsoft.co.jp/>

<販売・流通に関するお問い合わせ先>

〒141-8715 東京都品川区東五反田1-11-15

株式会社 電波新聞社

TEL 03-3445-8201 (販売部・ダイヤルイン)

## もくじ

もくじ	2
はじめに	3
サポート・ナンバー・シールを貼りましょう	3
使用上のご注意(重要)	4~5
同梱品一覧	6
本機に接続できる機器と接続できない機器	7
XVI-2の各部名称と解説	8~11
接続	12~17
■XVI-2接続概略	12
■本機使用時の入出力端子の正しい組み合わせ	13
■ビデオ・ケーブルやS端子ケーブルを使用したときの接続例	14
■D端子ケーブルを使用したときの接続例	15
■コンポーネント・ビデオ・ケーブルを使用したときの接続例	16
■ACアダプターの接続方法と電源の入れ方	17
D端子やコンポーネント・ビデオ端子とは	18
コンポーネント・ビデオ入力端子やD入力端子から映像を入力する際の注意事項	19
S1,S2信号について	20
仕様	21~22
トラブルとQ&A	23~27

## はじめに

この度は「XVI-2」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
本書には、「XVI-2」を正しくご使用いただくための接続方法や操作方法が書かれておりますので、本機をご使用になる前によくお読みください。  
「XVI-2」はD端子やビデオ端子、S端子の映像信号と音声信号を分配するための分配装置です。

本機には、1系統の入力を備えており、映像と音声を4分配し、4台の家庭用テレビなどに出力する事ができます。

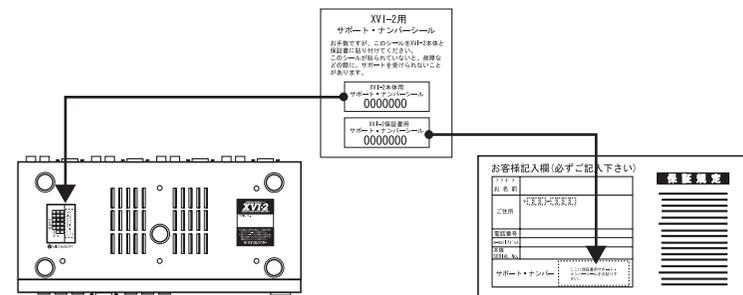
展示会などで、ビデオ映像を複数のテレビに表示したい時や、複数のビデオデッキを使用しての一括ダビングなどを行う際にご使用いただけます。

## サポート・ナンバー・シールを貼りましょう

恐れ入りますが、本機をご使用になる前に、同梱の「サポート・ナンバー・シール」を、本体と、保証書の指定の位置にお貼りください。

「サポート・ナンバー・シール」は、お客様が修理を依頼される時や、サポートをお受けになる際に、必ず必要となります。「サポート・ナンバー・シール」が貼られていないと、製品の修理やサポートをお断りさせていただく場合がございます。「サポート・ナンバー・シール」は、正規の国内流通品と海外流通品(逆輸入品など)とを区別するためのものです。

また、修理依頼などで製品をお送りいただいた際、「サポート・ナンバー・シール」が貼られていない場合は、弊社の判断で、本体と、保証に貼らせていただく場合がございます。



本体用サポート・ナンバー・シールを貼る位置  
本体の底面にお貼り下さい。

保証書用サポート・ナンバー・シールを貼る位置  
保証書の上記位置にお貼り下さい。

## 使用上のご注意（重要）

XVI-2は精密な電子機器です。お取り扱い時には、次のことにご注意ください。

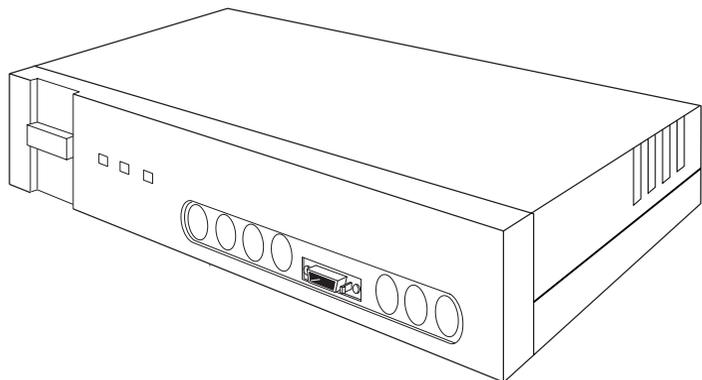
- 使用中に、本機から煙が出たり、変な臭いがする時は、すぐに使用を中止し、「電波新聞社・販売部 ユーザー・サポート係」または、「マイコンソフト株式会社 ユーザー・サポート係」までご連絡ください。  
そのままご使用になりますと火災や感電の原因となりますのでご注意ください。
- 本機は精密機器です。使用中や輸送時に強い衝撃を与えたり、ケーブルを引っ張るなど激しい取り扱いはしないでください。
- 本機をご使用にならない時は、本機のACアダプターをACコンセントから取り外してください。
- ケーブルなどを接続される際に、コードを引っ張らないでください。
- 本機や、ケーブルの上に物が乗った状態で使用しないでください。
- 本機を長時間使用すると、本機が高温になることがあります。お手を触れる際には十分ご注意ください。
- 接続する端子や接続方法を間違えると、本機や接続した機器が故障する恐れがあります。接続の際は本書をお読みいただき、正しく接続してください。
- 長時間、映像を表示し続けると、テレビ画面に映像の焼き付きが起こることがあります。使用しない時は、テレビの電源をオフにするか、本機の電源をオフにすることを推奨します。  
プロジェクション方式のテレビでは、焼き付きが起こりやすいので特にご注意ください。
- 製品には万全を期しておりますが、安全を考慮し、長期間使用しない時（旅行などで長期間留守にする時など）は、本機のACアダプターをACコンセントから取り外すことを推奨します。また、本機のACアダプターは本体が接続されていなくても、ACコンセントに接続されているだけで若干の電気を消費しますので、長期間使用しない時はACアダプターを取り外した方が電気代も節約できます。
- 本機を直射日光の当たる所に置かないでください。
- ぬれた手で本機を触らないでください。感電する恐れがあります。
- 分解、改造は絶対にしないでください。分解、改造後の保証・修理はいたしません。
- 本機の上や下に布を置いたり、テレビの上やAVラックに設置するなど、熱のこもりやすい状態で使用しないでください。

## 使用上のご注意（重要）

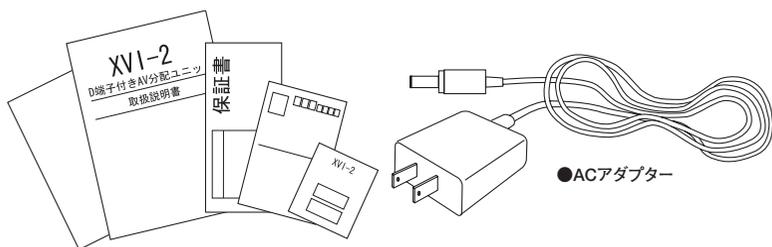
- お客様が、テレビ画面の「点滅」、「激しい色の変化」、「激しい動き」を見ると気分が悪くなるような体質をお持ちの場合は、本機の使用をご遠慮ください。大画面のテレビをご使用の際は特に注意が必要です。また、テレビ画面を見る時は、部屋を明るくし、できるだけテレビから離れてください。
- 本機を寒い屋外から暖房されている部屋に持ち込むと、急激な温度変化により、表面に水滴がつくことがあります。水滴がついたままご使用になりますと、故障、感電、火災の原因となります。
- 本機は、室内での使用を前提として設計されています。このため、屋外など過酷な条件や、極端な温度・湿度条件下で使用した際の動作は保証できません。
- 業務用途での使用(例えば1年間電源を切らずに連続使用するなど)を前提として設計されておりませんので、製品寿命や耐久性において、お客様の満足がいかないことがあります。このため、他機器(産業用機器や製造装置など)へ組み込み込んで出荷するなど、業務用途で長期に連続稼働が必要とされるシステムへの利用はお奨めできません。
- 本機は一般的なオフィスや家庭での使用を前提として設計された民生用の装置です。本機を、軍事機器、航空宇宙機器、原子力制御システム、幹線通信機器、交通機器、医療機器および、各種安全装置など、その故障や誤動作が社会・公共性または、直接人命や人体、財産に影響を及ぼすような高い品質・信頼性が要求される用途に使用しないでください。
- 本製品を本来の目的意外の用途に使用しないでください。
- 本製品を、日本国以外の国や地域(海外)では使用しないでください。日本国以外の国や地域で使用した際の事故、故障、損害に関しましては保証できません。保証規定は、日本国内においてのみ有効です。
- 本機の仕様や概観を改良のため予告なく変更する場合があります。また、予告なく本機の生産や販売を終了する事があります。ご了承ください。
- 本機の保証期間は、保証規定に従い、お買い上げ日から6ヶ月となります。それ以降は有償修理となります。また、本機のサポート期間は、生産完了後5年間とさせていただきます。それ以降は、部品などの供給の問題から修理できない事があります。なお、代替部品で修理が可能な場合は、サポート可能ですので、故障した際は、まず弊社へお問い合わせください。
- どうしても本機が正常に動作しない時や、操作がよく分からない時は、まず弊社にご連絡いただき、担当者の指示に従ってください。
- この取扱説明書の指示に従わずに発生した、いかなる事故、損害に関しても、弊社は一切責任を負いません。

## 同梱品一覧

本製品には、下記の物が同梱されております。ご使用前にご確認ください。  
製品には万全を期しておりますが、万が一、欠品などがございましたら、ご使用前に弊社までご連絡ください。



●XVI-2 (本体)



- 取扱説明書
- 保証書
- ユーザーズ・カード (ハガキ)
- サポート・ナンバー・シール
- 製品サポート・シート

恐れ入りますが、ユーザーズ・カード(ハガキ)は必要事項をご記入の上、郵便局のポストへ投函してください。お客様のご意見を次回製品の参考とさせていただきます。

## 本機に接続できる機器と接続できない機器

### ■本機に接続可能な機器の例

本機には、下記の、ビデオ端子(コンポジット)やS端子を持つNTSC方式の機器やコンポーネント・ビデオ端子、D端子を持つ機器を接続可能です。

また、本機のD入出力端子は、D4 (525i~750p) に対応しており、コンポーネント・ビデオ端子は525i,525p,1125i,750pの映像信号に対応しております。

- ・ビデオディスク・プレイヤー (DVDプレイヤーなど)
- ・BS/CSデジタル・チューナー、地上波デジタル・チューナー
- ・家庭用ゲーム機
- ・ビデオ・レコーダー (ビデオデッキ) /ビデオカメラ (ムービー)
- ・ビデオディスク・レコーダー (DVDレコーダー、ハードディスク・レコーダーなど)
- ・テレビ
- ・ビデオプリンター
- ・液晶プロジェクターなど

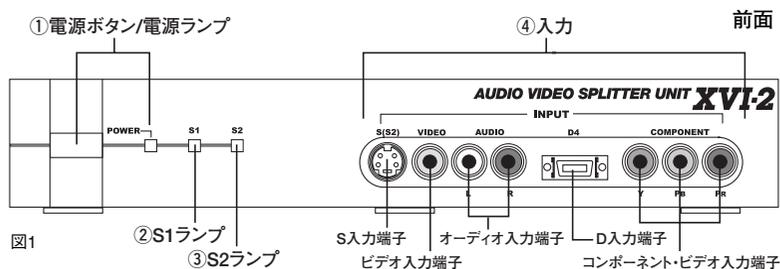
尚、本機の音声出力は、ステレオアンプなどのオーディオ機器に接続することも可能です。

### ■本機に接続しても動作を保証できない、または接続を推奨できない映像や機器

上記の「本機に接続可能な機器の例」に書かれていない機器や、下記の機器との接続は、動作の保証をいたしかねます。

- ・モノクロ方式のNTSC映像信号を出力する機器。
- ・パソコン内蔵のビデオ端子から出力されるS端子やビデオ端子の映像。
- ・業務用ゲーム機や、産業用機器の映像。
- ・PAL方式やSECAM方式など、NTSC以外のビデオ端子やS端子の映像。
- ・1125p (1080p) や海外仕様の画面モード (575iなど) のD端子の映像。

## XVI-2の各部名称と解説



### ①電源ボタン (POWER) /電源ランプ : POWER

本機の電源が「オフ(切)」の時にこのボタンを押すと、本機の電源を「オン(入)」にすることができます。電源がオンの時は「電源ランプ (POWER)」が点灯します。本機の電源が「オン(入)」の時にこのボタンを押すと、本機の電源を「オフ(切)」にすることができます。

### ②S1ランプ : S1

S端子の映像信号がS1信号の時にランプが点灯します。  
このランプが点灯している時は、S1信号に対応しているテレビで、自動的にワイド表示(アスペクト比16:9表示)することができます。

### ③S2ランプ : S2

S端子の映像信号がS2信号の時にランプが点灯します。  
このランプが点灯している時は、S2信号に対応しているワイドテレビで、自動的にワイドズーム表示(画面の中央部を拡大表示し、アスペクト比16:9表示)することができます。

### ④入力 : INPUT

入力端子には右記(次ページ)の映像端子と音声端子があります。  
映像端子はそれぞれに独立した分配回路が用意されているため、映像端子を同時に入力・分配することが可能です。ただし、D4入力端子とコンポーネント・ビデオ入力端子(Y,PB,PR)は、内部回路が共有されていますので、同時に使用することはできません。

## XVI-2の各部名称と解説

### ビデオ入力端子(コンジット・ビデオ) : VIDEO

ビデオ出力端子を持つ機器を接続し、映像信号を入力することができます。

NTSC方式のビデオ映像を入力することができます。



図2 黄の端子

### S入力端子(S2端子) : S(S2)

Sビデオ出力端子を持つ機器を接続し、映像信号を入力することができます。  
NTSC方式のSビデオ映像を入力することができます。S1やS2信号にも対応しています。



図3

### D4入力端子 : D4

D出力端子を持つ機器を接続し、映像信号を入力することができます。  
D1 (525i), D2 (525p), D3 (1125i), D4 (750p) に対応したコンポーネント・ビデオ映像を入力する端子です。この端子は、本機のコンポーネント・ビデオ入力端子(Y,PB,PR)と同時に接続することはできません。

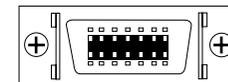


図4

### コンポーネント・ビデオ入力端子(Y,PB,PR) : COMPONENT (Y,PB,PR)

525i,525p,1125i,750pに対応したコンポーネント・ビデオ映像を入力する端子です。  
Y端子にはコンポーネント・ビデオの緑の端子(輝度信号)を接続します。PB信号には青の端子(色差信号)を接続します。PR信号には赤の端子(色差信号)を入力します。

この端子は、本機のD4入力端子と同時に接続することはできません。



図5 緑の端子 青の端子 赤の端子

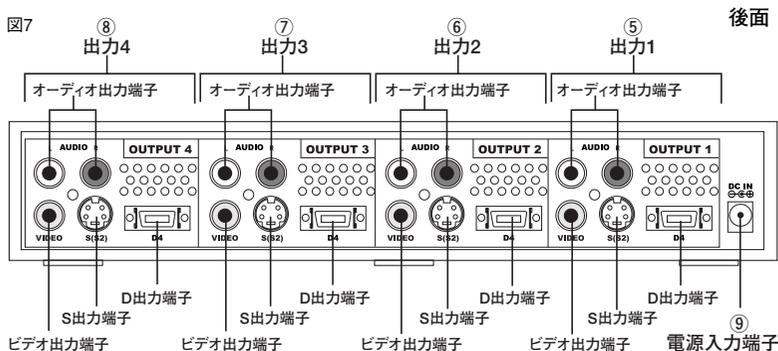
### 音声入力端子 : AUDIO L,R

ステレオ音声を入力する端子です。  
L(白)は音声の左、R(赤)は音声の右を入力します。



図6

## XVI-2の各部名称と解説



### ⑤出力1～⑧出力4：OUTPUT 1～4

出力端子には下記の映像端子と音声端子があります。

本機の入力端子から入力された映像信号や音声信号を分配して出力することができます。映像端子は、それぞれの端子に独立した分配回路が用意されているため、ビデオ端子、S端子、D4端子(またはコンポーネント・ビデオ)の映像を同時に分配・出力することが可能です。

### ビデオ出力端子(コンポジット・ビデオ)：VIDEO

NTSC方式のビデオ映像信号を出力する端子です。

ビデオ入力端子を持つ機器を接続することができます。

本機のS入力端子やD4入力端子、コンポーネント・ビデオ入力端子から入力した映像信号をこの端子から出力することはできません。



### S出力端子(S2端子)：S(S2)

NTSC方式のSビデオ映像信号を出力する端子です。

S入力端子を持つ機器を接続することができます。

S1やS2信号にも対応しています。

本機のビデオ入力端子やD4入力端子、コンポーネント・ビデオ入力端子から入力した映像信号をこの端子から出力することはできません。



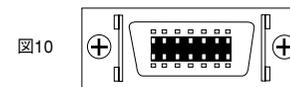
## XVI-2の各部名称と解説

### D4出力端子：D4

D1(525i)、D2(525p)、D3(1125i)、D4(750p)に対応したコンポーネント・ビデオ映像を出力する端子です。D入力端子を持つ機器を接続することができます。

この端子に接続される機器は、本機の入力側に接続した機器に対応した映像機器を接続してください。例えば、本機の入力側の映像信号がD4(750p)の場合は、D4入力に対応した映像機器(D4端子付きテレビ)などを接続する必要があります。

本機のビデオ入力端子やS入力端子から入力した映像信号をこの端子から出力することはできません。



### 音声出力端子：AUDIO L,R

ステレオ音声を出力する端子です。L(白)は音声の左、R(赤)は音声の右を出力します。

映像機器やオーディオ機器(ステレオアンプなど)の音声入力端子に接続することができます。



### ⑨電源入力端子(DC IN)

付属のACアダプターを接続します。

本機をご使用の際は、必ず本製品に付属の専用ACアダプターをご使用ください。ACアダプターの接続方法は、17ページに詳しく書かれています。

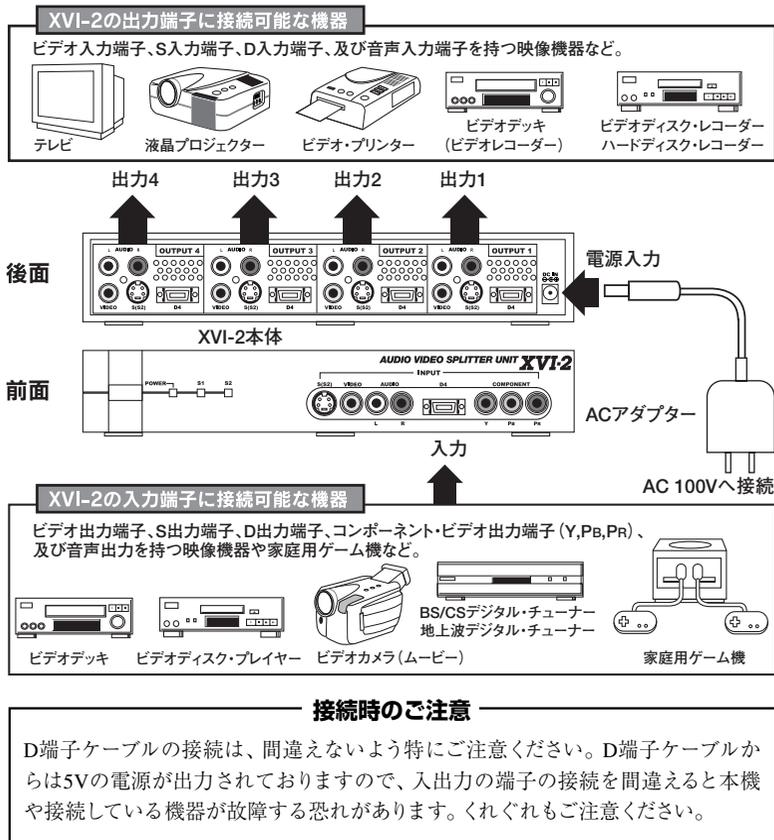


## 接続

下図や12ページ～17ページの接続図を参考にして、本機に機器や、ACアダプターを接続してください。各機器を接続する際には、本機や接続する機器の電源を「オフ」または「スタンバイ（待機状態）」にしてください。ACアダプターの接続方法は17ページをご覧ください。ACアダプターは最後に接続してください。

### ■XVI-2接続概略

図13

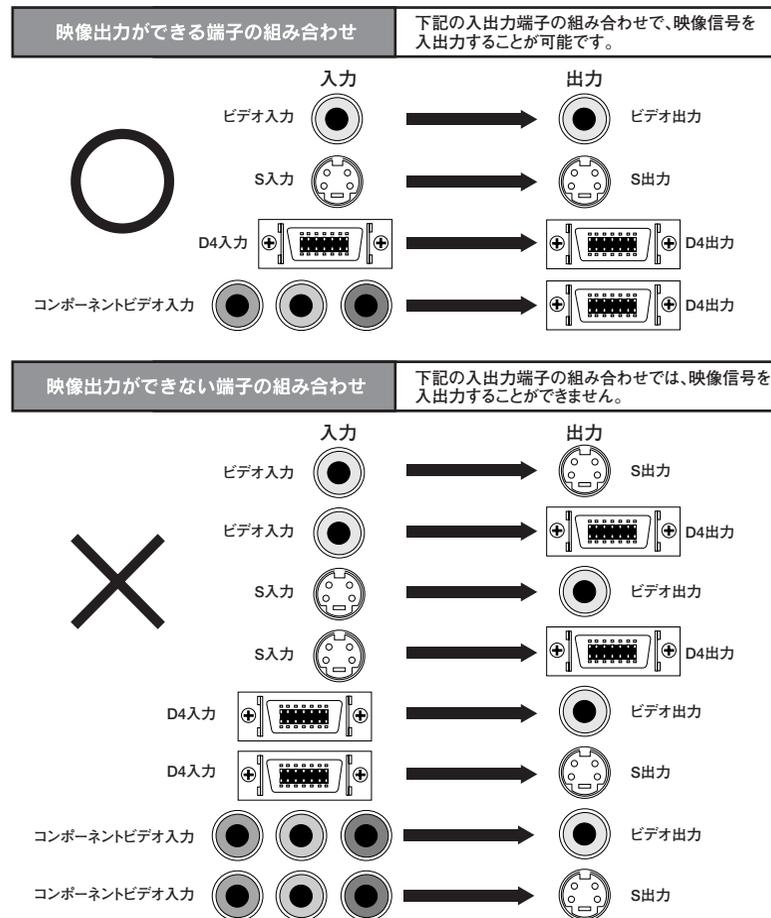


## 接続

### ■本機使用時の入出力端子の正しい組み合わせ

本機は、接続ケーブルの組み合わせによって、映像を出力できないことがありますので、下図をご使用の際の参考にしてください。

図14



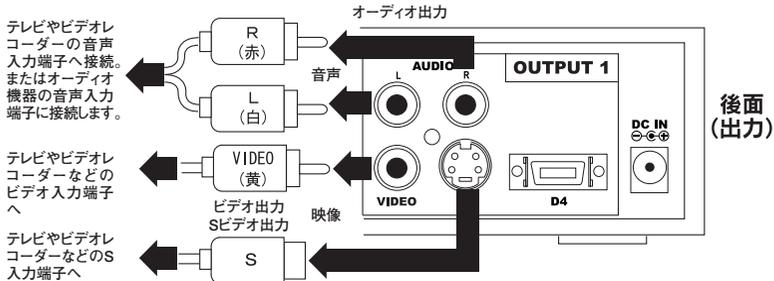
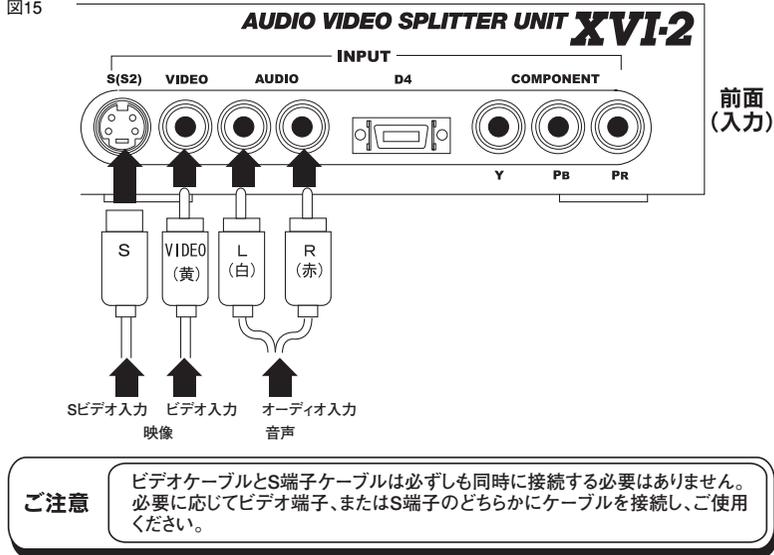
## 接続

### ■ビデオ・ケーブルやS端子ケーブルを使用したときの接続例

ビデオ・ケーブルやS端子ケーブルを使用して機器を接続する時は、下図の様に接続します。ACアダプターの接続方法は、17ページをご覧ください。

接続するすべての機器の電源をオフ(切)、またはスタンバイ(待機)状態にしてから接続作業を行ってください。

図15



## 接続

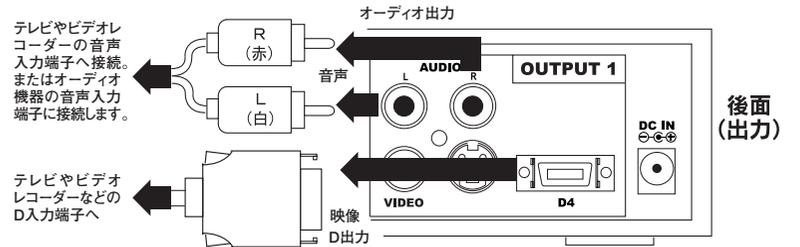
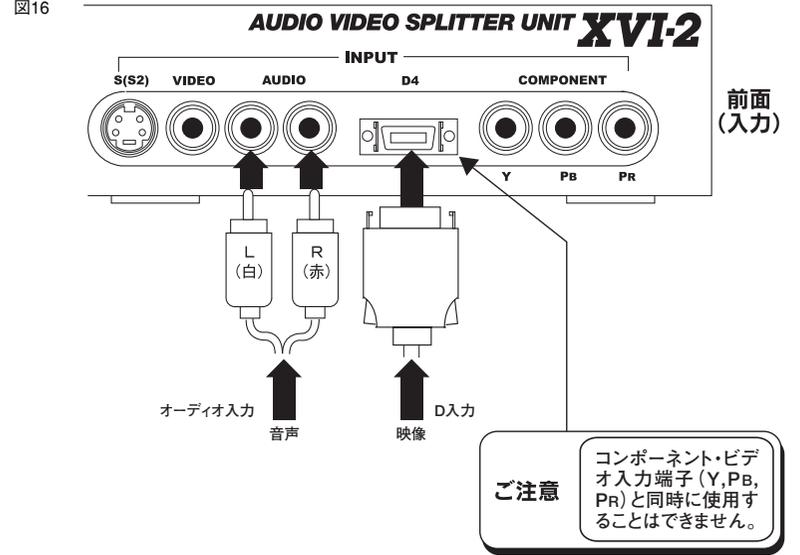
### ■D端子ケーブルを使用したときの接続例

D端子ケーブルを使用して機器を接続する時は、下図の様に接続します。

ACアダプターの接続方法は、17ページをご覧ください。

接続するすべての機器の電源をオフ(切)、またはスタンバイ(待機)状態にしてから接続作業を行ってください。

図16



## 接続

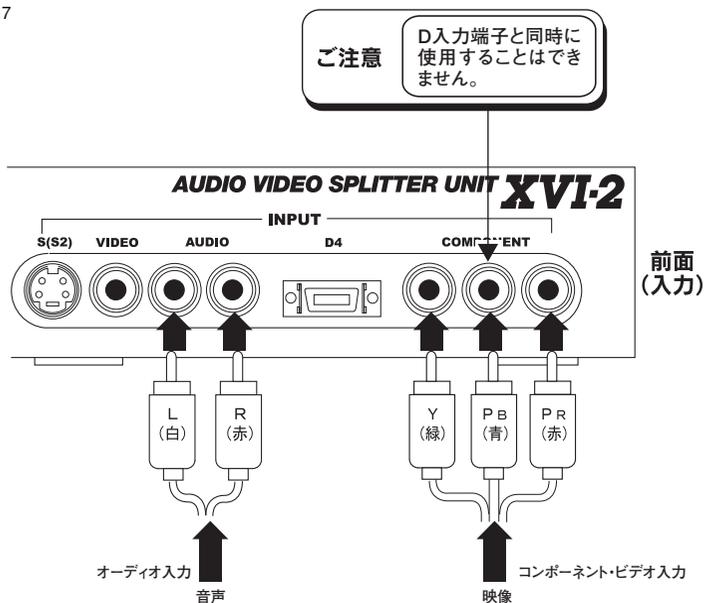
### ■コンポーネント・ビデオ・ケーブルを使用したときの接続例

コンポーネント・ビデオ・ケーブルを使用して機器を接続する時は、下図の様に接続します。出力側のケーブルの接続は15ページを参考にしてください。

ACアダプターの接続方法は、17ページをご覧ください。

接続するすべての機器の電源をオフ(切)、またはスタンバイ(待機)状態にしてから接続作業を行ってください。

図17



#### ご注意

コンポーネント・ビデオ入力端子から入力された映像は、D出力端子から出力されます。

## 接続

### ■ACアダプターの接続方法と電源の入れ方

ACアダプターを接続する前に、映像ケーブルや音声ケーブルなど、ACアダプター以外のケーブルが正しく接続されていることを確認してください。

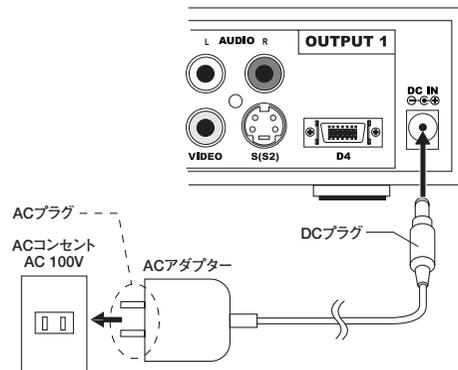
ACアダプターは、すべての機器の接続が終了した後に接続します。

ACアダプターは下記の手順で接続することをお奨めします。

#### ACアダプターの接続手順

- ①ACアダプターを接続する前に全ての機器を接続し、接続が正しいことを確認しておきます。
- ②本機に接続された機器の電源を「オン」にします。
- ③本機のACアダプターの「DCプラグ」をXVI-2(本体)の「電源入力端子(DC IN)」に接続します。
- ④本機のACアダプターの「ACプラグ」を「ACコンセント(AC 100V)」に接続します。

図18



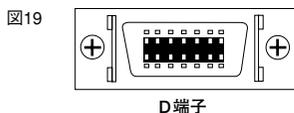
- ⑤XVI-2(本体)の「電源ボタン(POWER)」を押して、本機の電源を「オン」にします。
- ⑥XVI-2(本体)の「電源ランプ」が点灯していることを確認します。

この時点で、テレビなどに入力した映像が表示されていれば、接続作業は完了です。もし、「画面が表示されない」などの症状が発生した時は、いったん本機の電源を「オフ(切)」にし、もう一度、接続などを確認してください。特に入力と出力のケーブルは間違えやすいので、接続は念入りにご確認ください。

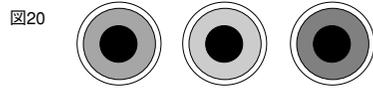
## D端子やコンポーネント・ビデオ端子とは

本書に記述されております、D4入力端子やD4出力端子は、一般的に総称で「D端子(ディーたんし)」と呼ばれます。

D端子の映像信号方式は、端子形状は異なりますがコンポーネント・ビデオ信号と同じです。D端子は、下図19の様な形状をしており、14本のピンがあります。これらのピンには映像信号の他にテレビの画面比率調整(16:9/4:3など)の切り替えを行う制御信号や画面モードの識別信号なども含まれ、この点がコンポーネント・ビデオ端子と異なります。



D端子



コンポーネント・ビデオ端子

D端子やコンポーネント・ビデオ端子は、ビデオ端子やS端子に比べ、色のにじみなどが少ないのが特徴です。

D端子やコンポーネント・ビデオ端子は映像のみで、音声信号は含まれません。

国内製品のD端子には、D1端子、D2端子、D3端子、D4端子、D5端子の5種類があります。

本機に対応しているのはD1～D4端子で、D5端子には対応しておりません。

D1～D4の映像信号は、いずれもコンポーネント・ビデオ信号ですが、映像信号の周波数が異なり、画質も異なります。各端子はその端子の規格より低い規格の映像信号にも対応しています(例えば、D4端子はD4(750p)の他にD1(525i)、D2(525p)、D3(1125i)の映像にも対応可能です)。

尚、機器によっては、525iは480i、525pは480p、1125iは1080p、750pは720pと表記されていることがあります。各仕様の対応は下表をご覧ください。

表1 各D端子に対応可能な映像信号 (○は対応可能)

信号の規格 端子規格	525i (480i)	525p (480p)	1125i (1080i)	750p (720p)
D1	○			
D2	○	○		
D3	○	○	○	
D4	○	○	○	○

## コンポーネント・ビデオ入力端子やD入力端子から映像を入力する際の注意事項

コンポーネント・ビデオ端子(Y,Pb,Pr端子)から入力された映像信号をD端子付きテレビに接続して表示すると、テレビの機種によって映像が正しく映らないことがあります。

D端子には、現在入力されている映像信号が、どのような解像度なのか(525iなのか525pなのかなど)、アスペクト比がどうなっているのか、を識別するライン信号(5Vや2.2Vの信号)が用意されており、テレビの機種によってはこの信号を識別して、画面の表示方式やアスペクト比を決定します。

しかしコンポーネント・ビデオ端子から入力される映像信号には、この識別信号がないため、本機から出力されるD端子の信号にも、この識別信号が含まれていません。このため、「コンポーネント・ビデオ端子入力→D端子出力」という組み合わせで本機を使用すると正しく表示できないことがあります。

具体的には下記の症状が発生することがあります。

- ・画面のアスペクト比がおかしい(ビデオ/S端子ケーブルで接続した時と異なる)。
- ・D2(525p)、D3(1125i)、D4(750p)の映像で、画面が乱れる。

弊社では、下記の機種で画面の乱れが発生することを確認しております。

【SHARP社28C-PD1,32C-PD1-S】: D1(525i)以外の映像で画面の乱れあり。

【SONY PED-W17M】: D4(750p)時に画面表示がおかしくなる可能性あり。

また、本機への映像入力D端子からであっても、ライン信号が含まれていない場合(EIAJ仕様に準拠していない場合は)、D2(525p)、D3(1125i)、D4(750p)の映像が正しく映らないことがあります。

これは、ライン信号が未結線の時は、入力信号をD1(525i)と判断するためです。これらの症状は、本機では改善できません。

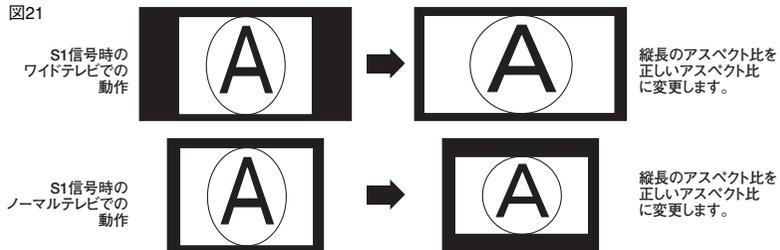
## S1,S2信号について

テレビやビデオディスク・プレイヤーのS端子には、「S端子」という表記のそばに「(S1)」や「(S2)」と記述されたものがあります。これは、そのS端子がS1信号やS2信号に対応していることを示しています。S1信号やS2信号は下記の機能を持っています。

**S1信号**：S1信号に対応したS端子付きテレビでは、S1仕様のSビデオ信号が入力されると、画面を自動的に16:9画面で表示することができます。

たとえばS1出力に対応したDVDプレイヤーで16:9画面对応のコンテンツを再生したときに、自動的に画像のアスペクト比を16:9で表示することができます。

図21



**S2信号**：S2信号に対応したテレビなどでは、S2仕様のSビデオ信号が入力されると、ワイドテレビで画面を自動的にワイドズーム表示することができます。

たとえばS2出力に対応したDVDプレイヤーで、4:3画面对応でピスタサイズ（レターボックス）表示のコンテンツを再生したときに、ワイドテレビで画面の中央部を自動的に拡大し全画面で表示することができます。

**参考**：DVDプレイヤーの機種によっては、S1信号やS2信号の出力設定を、変更することができます。

図22



## 仕様

入力	ビデオ端子(RCA端子) ビデオ(NTSC準拠) 1Vp-p(75Ω)
	S端子(4ピンminiDIN) Sビデオ(NTSC準拠) Y信号 1Vp-p(75Ω) C信号バースト信号部で0.286V(75Ω)
	D端子(D4)/コンポーネント・ビデオ端子(Y,PB,PR) MDR-14pin/RCA端子 Y信号 1Vp-p PB信号 0.7Vp-p(±350mVp-p) PR信号 0.7Vp-p(±350mVp-p) 525i(480i), 525p(480p), 1125i(1080i), 750p(720p)対応
音声	オーディオ入力 RCA端子
出力	ビデオ端子(RCA端子) ビデオ(NTSC準拠) 1Vp-p(75Ω)
	S端子(4ピンminiDIN) Sビデオ(NTSC準拠) Y信号 1Vp-p(75Ω) C信号バースト信号部で0.286V(75Ω)
	D端子(D4) MDR-14pin Y信号 1Vp-p PB信号 0.7Vp-p(±350mVp-p) PR信号 0.7Vp-p(±350mVp-p) 525i(480i), 525p(480p), 1125i(1080i), 750p(720p)対応
音声	オーディオ出力 RCA端子
電源	専用ACアダプターにより供給 DC 12V 最大消費電流 1A 消費電力 12W
本体寸法	横292mm×高さ49mm×奥行き130mm (ボタン、コネクタ、ゴム足を除く)
重量※1	本体:約650g 電源アダプター:約132g

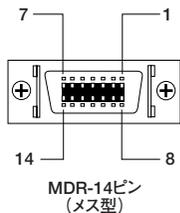
※1 重量は生産時期によって若干変わることがあります。

## 仕様

### ■ 端子仕様

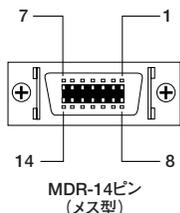
#### D4入力端子

ピン番号	信号
1	Y
3	PB
5	PR
8	LINE 1 : 525/750/1125 識別信号
9	LINE 2 : 60p/60i 識別信号
11	LINE 3 : 16:9/4:3レターボックス/4:3識別信号
2,4,6	GND (接地)
7,10,12,13,14	未結線
外周金具	GND (接地)



#### D4出力端子

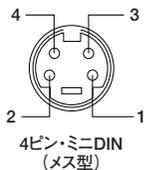
ピン番号	信号
1	Y
3	PB
5	PR
8	LINE 1 : 525/750/1125 識別信号 ※2
9	LINE 2 : 60p/60i 識別信号 ※2
11	LINE 3 : 16:9/4:3レターボックス/4:3識別信号※2
2,4,6	GND (接地)
7,10,12,13,14	未結線
外周金具	GND (接地)



※2 : 入力端子にライン信号が入力されていない時は出力しません。また、Y,Pb,Pr端子から映像を入力した際は、ライン信号を出力しません (0Vとなります)。

#### S端子 (入出力)

ピン番号	信号
1	GND (接地)
2	GND (接地)
3	Y
4	C



## トラブルとQ&A

製品をご使用の際に問題が発生した時は、下記事項をご確認ください。

また、製品に不具合が発生した時は、販売店さまへ交換・お問い合わせをされる前に、まず弊社へお問い合わせいただき、本当に弊社製品が故障・不良であるかどうかを確認することをおすすめします。電話やe-mailで解決する不具合もあります。

### ■電源ランプが点灯しない

- ・電源ボタンは「オン(入)」になっていますか？
- ・ACアダプターは正しく接続されていますか？

### ■画面が表示されない

- ・映像ケーブルの接続は正しいですか？入力と出力の端子を間違えていないか、もう一度ご確認ください。
- ・入力ケーブルと出力ケーブルの種類は同じですか？ビデオ入力端子やS入力端子から入力された映像をD出力端子から出力することはできません。また、D入力端子から入力した映像を、ビデオ出力端子やS出力端子から出力することはできません。
- ・テレビやビデオデッキ(ビデオレコーダー)の入力チャンネルの設定は正しいですか？

### ■本機のコンポーネント・ビデオ入力端子から525p,1125iまたは750pの映像を入力し、D端子つきのテレビに接続すると、画面が表示されない。または画面が乱れる。

19ページにも書かれておりますが、コンポーネント・ビデオケーブルでは、画面モード識別用のライン信号を入力できませんので、525p,1125i,750pの映像信号を入力した時、テレビによっては映らないことがあります。

### ■テレビなどから音声出力されない

- ・音声ケーブルの接続は正しいですか？入力と出力の端子を間違えていないか、もう一度ご確認ください。
- ・テレビ側のボリューム設定は適切ですか？
- ・テレビやビデオデッキ(ビデオレコーダー)の入力チャンネルの設定は正しいですか？

<次ページにもトラブルについて記述されています>

## トラブルとQ&A

### ■画面が点滅する

・乱れた映像信号が入力されると、テレビなどに表示された画面が点滅することがあります。

### ■音声の音量(レベル)が著しく低くなる

ヘッドフォン端子やイヤホン端子から出力される音声を本機に入力してテレビなどに出力すると、音声レベルが低くなり、音声が正しく出力されないことがあります。本機に音声を入力する時は、必ずオーディオ端子(またはライン端子)からの音声を入力してください。

### ■複数のXVI-2を継ぎ足して使用し、もっと多くのテレビに映像を分配したいのですが、そのようなことは可能ですか？

無理ではありませんが、本機を2台以上直列で接続した際の鮮明度や表示品質については保証いたしかねます。

### ■アスペクト比が勝手に変わってしまう。

S端子ケーブルやD端子ケーブルで接続すると、テレビ側が画面のアスペクト比識別用の信号を自動認識し、画面の表示が「拡大表示」されたり、「ワイド表示」されることがあります。

### ■アスペクト比や表示幅が不規則に変化する。

本機に入力される側の信号が乱れ気味であったり、減衰気味の場合、映像分配時に正しく信号を出力できないことがあります。この様な場合は、テレビ画面が「ノーマル表示←→ワイド表示」などの表示を何度も繰り返したり、画面比率を正しく表示できないことがあります。特にビデオデッキなどの再生映像で映像信号が乱れている時や、サーチ(高速再生や、逆再生)するとこの様な症状が発生することがあります。

<次ページにもトラブルについて記述されています>

## トラブルとQ&A

### ■S2信号を入力するとアスペクト比がおかしくなる。

ご使用のテレビのS端子はS2信号に対応していますか？

S2の映像信号を、S1にしか対応していないテレビなどで表示していませんか？

S2の映像信号を、S1にしか対応していないテレビで表示すると、テレビによっては識別信号を誤認識することがあります。

### ■DVDビデオの映像や、BS/CSデジタル・チューナーの映像を録画できない。

プロテクト信号やコピーワンス信号が含まれる映像信号は、ビデオデッキやビデオディスクレコーダーなどで複製・録画ができません。

### ■映像の鮮明度や明るさ、色合い、位相を調整することはできませんか？

本機には、調整機能を一切備えておりません。このため、画質や鮮明度、位相を調整することはできません。

### ■ACアダプターが壊れた様です。ACアダプターのみ購入できますか？

ご希に「ACアダプターが壊れている」、とお客様が判断され、「ACアダプターのみを購入したい」、とお問い合わせをされることがあります。一見ACアダプターが壊れているように見えても、故障の原因が本体側にあることも考えられますので修理を依頼されることをお奨めします。ACアダプターのみ購入は可能ですが、再故障につながる恐れもありますので、検査なしでの購入はお奨めできません。

### ■S端子に入力された映像信号がS1信号でもS2信号でもないのに画面のアスペクト比が変わってしまう。また、ビデオ端子やD端子、コンポーネント・ビデオ端子から入力された映像でも画面のアスペクト比が本来のアスペクト比と違う。

本機に入力されている映像信号にID-1信号が含まれている可能性があります。

ID-1信号は映像信号内部に含まれる波形によってアスペクト比を変更する機能です。

<次ページにもトラブルについて記述されています>

## トラブルとQ&A

### ■S端子ケーブルを使用してテレビに接続すると、色ズレ(位相のズレ)してしまう。

・入力や出力のケーブルに長いものを使用していませんか？

S端子やD端子で接続ケーブルを長くしすぎると、色ズレ(位相のズレ)が発生します。

ケーブルなどの長さについては、下記を参考にしてください。

### ■映像の接続ケーブルは何メートルまで延ばせるのでしょうか？また、どんなケーブルが接続に適していますか？

接続ケーブルには、75Ωインピーダンス・マッチング品の使用を推奨します。

接続ケーブルの長さに関しては、下記をご覧ください。

#### <入力ケーブル>

どの端子の接続に関しても、鮮明度を重視されるのであれば、ケーブルはできるだけ短いものをご使用ください。入力用のケーブルは1m~2m以下のものを推奨します。

#### <出力ケーブル>

##### ●ビデオ・ケーブル

出力側のビデオ・ケーブルは5メートル以下を推奨します。

出力側のビデオ・ケーブル(コンポジットビデオ・ケーブル)は理論上100メートル延ばしても問題ありません(あくまでも参考です)。しかし、ケーブル自体の特性や減衰、端子の接触抵抗によって鮮明度が損なわれ、また、若干画面が暗くなるなどの症状が発生することがあります。

推奨値を越える長さのケーブルを使用した際の画面表示の品質や動作に関しては、弊社が保証するものではありません。

##### ●S端子ケーブル

出力側のS端子ケーブルは3メートル以下を推奨します。

出力側のS端子は20m程度まで延長可能ですが、減衰や位相のズレが起こることがあります。またケーブルを延ばすと、同期信号が減衰し、テレビによっては正しく映らないこともあります。推奨値を越える長さのケーブルを使用した際の画面表示の品質や動作に関しては弊社が保証するものではありません。

##### ●D端子ケーブル

出力側のD端子ケーブルは、3メートル以下を推奨いたします。

<次ページにもトラブルについて記述されています>

## トラブルとQ&A

これらのチェックでも原因が見つからなかった場合は、まず弊社にご連絡いただき、担当者の指示に従ってください。それでも問題が解決しなかった場合は、お手数ですが同梱の保証書に必要事項をご記入のうえ、商品と一緒に弊社までお送りください。保証規定にそって無料で修理いたします。(修理をご依頼の際は、本体・ACアダプター、ケーブル・保証書・製品サポート・シートなどの同梱品を必ずお送り下さい。)ただし、保証書が無い場合や、保証期間を過ぎてからの修理、保証期間内であっても故障の原因がお客様の不注意によるものであった場合は、修理費の請求をさせていただきますので、あらかじめご了承ください。

動作不良の症状や故障の状況に関しては、添付の「製品サポート・シート」に詳しくご記入いただき、修理ご依頼の際に同梱してお送りください。尚、修理にかかる時間は、場合によっては最長で2週間前後かかることがあります。

<製品内容のご質問・修理のご質問は下記までお願いいたします>

〒541-0041 大阪市中央区北浜3丁目2番25号

京阪淀屋橋ビル6階 電波新聞社・大阪本社内

TEL 06-6203-2827

<お問い合わせの多いご質問は、弊社ホームページにて閲覧可能です>

弊社ホームページURL <http://www.micomsoft.co.jp/>

### 送付・梱包に関して

- 原則としてお客様から弊社へ製品をお送りになる際の送料はお客様のご負担にてお願いいたします。ただし、初期不良の際の送料に関しましては、発送前にお電話などで弊社にお問い合わせください(事前のご連絡無しに着払いで製品を発送されることはご遠慮下さい)。尚、弊社から、お客様へ製品を発送する際の送料は弊社が負担させていただきます。
- 本機は精密機器です。発送の際は、「われもの」または「精密機器」として発送してください。また、発送時の梱包は、クッションで製品を包むなど、輸送時に衝撃が加わらないようご配慮ください。尚、輸送中の事故や衝撃による破損に関しましては、弊社は責任を負いません。
- 修理をご依頼の際は、必ず、「本体」と「ACアダプター」を一緒にお送りください。本体のみの送付や、ACアダプターのみの送付では、症状を確認できません。